

はぐ はぐ Cafe 通信

子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

Vol.24

2025年1月14日発行
<http://hagu-hagu.com>

発行者/NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ事務局 〒920-0955 石川県金沢市土清水2丁目396番 TEL 070-6559-9557 FAX 076-229-3713

「子どもを理解することは、子どもの特性を知ることから」

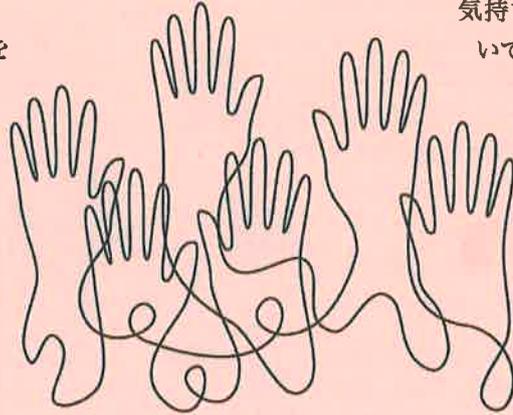
いつも皆様には、はぐはぐのご支援を賜りましてありがとうございます。皆様からの温かいお声かけやお志にスタッフ一同心より感謝いたしております。

はぐはぐの活動開始以来、親子や夫婦の人生が大きく変わる場面をたびたび見てきました。時には深くかかわることで、辛切ない場面に遭遇することがあり、その度になんとも言葉にはできない気持ちになります。時には親子や夫婦、双方から話を聞く機会があります。ほとんどの場合、コミュニケーションが取れない、また取れなくなってしまったことから小さな誤解を生み、それぞれの思惑で複雑に絡み合い最後はほどけなくなってしまったように見えてなりません。

そういう自分自身もどうなのかと問われれば、人に対して、「なぜそんな考え方をするのか」「なぜそんな行動をするのか」と理解できず、挙げ句の果て自分の勝手な解釈で、この子は、この人はこうだと決めつけ本来の姿を見失ってしまいそうになったこともありました。

私たちは親の子どもへのかかわり方を「オーダーメイド・ペアレンティグプログラム」を通して学んでいます。その中で、人はそれぞれ発達の特徴や気質をもっていることを知ります。当たり前のことなのに、先日ストンと府に落ちる瞬間がありました。

人と話すことが得意な人、苦手な人、察するのが得意な人、苦手な人…どんな人も特性を持っています。皆さんも



思い当たるのではないのでしょうか。人の特性にはグラデーションがあり、強い特性から弱い特性までさまざまです。強い発達特性がある場合は、発達障害の診断を受け、日常生活に不具合が生じないよう支援を受けることもあります。多くの人は多少の発達の特性を抱えながら、普通に生活を送っていきます。特性に良い悪いも無く、その人の特性を自分も周りも受け入れることで自分自身を肯定して生きていくことができます。人によってはその特性を活かし、社会で活躍することもあります。しかし反対にその特性を強く否定されたり、またその特性を知らずに不適切な言葉かけや態度をとられると、その子の特性は踏みにじられ、生き辛さを抱えてしまうことがしばしばあります。

そんな子どもたちに対して、周りの大人がその子に合った適切な関わり方をするのがとても大事なことを気付かされます。相手やまた自分の特性を知ること、違いがわかり相手を理解しようとする気持ちになっていきます。その理解しようとする

気持ちが、人に優しい社会を作っていくのではないのでしょうか。他者を尊重できて人を思いやれる

社会は、子どもも大人もみんなが生きやすい社会であると思います。そんな社会に早くなれば良いのにと、窓の外の降りしきる雪をみながら考えています。

この半年間もスタッフやボランティアの皆さんとともにささやかな支援に取り組んで参りましたので、ここにご報告をさせていただきます。

木曜日のコティ ～困難を抱える親の居場所～ ※気軽に立ち寄れる実家のような場を目指して※

日時：毎週木曜 10時30分～15時(第5木曜はお休み) 場所：ランプアコティ 対象：子育て中の親子(支援家庭優先) 料金：無料

毎週木曜日、はぐはぐの家ランプアコティでママたちの羽休めの場所「木曜日のコティ」をオープンしています。生活に困窮していたり、DV、育児不安などで心が弱くなった方など、来られる方にはそれぞれ理由があります。さまざまな困難を抱えながら身近な頼り先がなく、一人で小さな子の育児と仕事、ときに通院や闘病の日々を送るママたち。ひとときのホッと一息つける場所、思いを吐き出せる場所となるよう、立ち止まったり、失敗したり、どんな選択をしたとしても否定せず、一緒にあたたかい食事を囲みます。必要な時には情報提供、資格のための学習支援、就職相談に乗るなど一人ひとりに長くなが〜く伴走していきます。

この度、私たちのこの活動に対し、国際ソロブチミスト金沢-

くろゆり様より、令和6年度日本財団活動資金援助をいただき、11/19に助成金の贈呈式がありました。いただいた助成金は活動の運営資金として大切に使用させていただきます。



困窮する子育て家庭への食料支援 ～親子に寄り添う訪問型支援～ 《金沢市(子育て支援課)補助事業・一部自主事業》

金沢市児童家庭相談室や金沢市児童相談所からの依頼や、社会福祉協議会などから紹介を受けた困窮家庭への支援として、月2回程度の訪問支援を実施しています。食材提供を通して、困窮する家庭や支援を要する家庭等に寄り添い、孤立を防ぐことを目的としています。関係機関へは定期的に現状を報告し、特変があった場合は速やかに繋がります。どのケースも深刻な事態にならないように努めています。

最近、妊婦さんや赤ちゃんが生まれて間もないご家庭の支援が増えていきます。周りに頼れる家族がいなくて心細い中、懸命に子どもを育てていらっしゃいます。しかし一人で子育てをしながら働くことは想像以上に大変で、お子さんが病気になったり、自分も病気になると仕事を続けることができなくなったりして、就職と退職を繰り返される方もいらっしゃいます。何か資格があるとスムーズに就労に繋がるケースもありますが、そのような方は

少なく、安定した仕事に就くのにとても苦労されています。

そんな中、子どものために一念発起して資格取得にチャレンジされるママさんもいらっしゃいます。私たちは、そんなママをできるだけ応援をしたいと思い、学習支援などさまざまな形で援護しています。勉強のつまづきなど一緒に一喜一憂することもあります。とにかく志望校の合格通知が見られるまでスタッフみんなでそっと見守っていきます。



そのまま子ども食堂 & 学習支援 《金沢市助成事業》

困難な状況のご家庭を対象に「そのまま子ども食堂」と「学習支援」を毎月第2、第4金曜日の月2回開催しています。食事の前の学習支援では、大学生やボランティアスタッフが子どもたちを見守ります。夢中に遊んでいる中でときどき小さな喧嘩もありますが、笑ったり怒ったりしながらも学生ボランティアたちと過ごす時間をいつも楽しみにしているようです。子どもたちが安心してこの場所で過ごしてもらえるように、スタッフはできるだけ子どもの意見を尊重し、勉強も遊びもできるだけ寄り添うことを心がけています。どの子どもも本当に嬉しそうです。



物価高の中、食堂の運営をすることはとても大変になってきました。多くの方に支えていただいていたがながら頑張っています。近くの企業の社員さんが、仕事の合間に作って下さった美味しい野菜を定期的に届けてくださいます。その他にもお店でフードドライブをして下さるスーパーマーケットさん、コンビニさん。そしてこの食堂は調理、配膳、後片付けなど本当に多くのボランティアスタッフに支えられています。皆様の善意に感謝して、心を込めてこの小さな食堂をこれから

も運営していきたいと思っています。

も運営していきたいと思っています。

10月には、子どもたちと一緒に、学習支援でお世話になっているボランティアスタッフお二人の結婚をみんなでお祝いしました。お二人の幸せを願って、司会進行から部屋の飾り付けまで、子どもたちも張り切ってお手伝いをしてくれました。素敵な笑顔の新郎新婦。どうかいつまでもお幸せに。



金沢版子ども宅食推進事業

金沢市が主催し、社会福祉協議会が企画運営する「子ども宅食推進事業」にはぐはぐも協力しています。これは、金沢の特徴である地域コミュニティ力を活かし、市内を概ね8ブロックに分け、それぞれに拠点を開設し、社会福祉団体と連携し地域から子どもの生活を支援する取り組みです。食料提供を通して、支援が届きにくい家庭に必要な支援につなげる仕組みの構築を目指しています。対象は児童扶養手当を受給している世帯で、拠点に食料を取りにきてもらう際にスタッフから声かけをし、地域での見守り体制や必要な支援に繋がっています。特に厳しい状況にある困窮家庭は、「訪問型見守り支援」

に繋がっています。

令和6年度が始まってから、すでに4つのブロックで開催されていますが、この事業には地域の方々(民生委員・児童委員他多数)が全面的に協力されています。子どもたちを見守る目は温かく、子どもたちが安心して暮らしていけるように尽力されている姿に頭が下がる思いです。この事業には民間の企業もサポーターとして食材の寄付の協力をされています。金沢市の子ども支援の小さかった輪が、どんどん市全体に広がってきていることが実感できるようになってきました。

児童養護施設の子供達への学習支援



児童養護施設(聖霊愛児園さん)での学習支援の場に来てくれる子どもたちは、3年生3人、2年生5人、1年生1人、総勢9人。ボランティアも5人に増えて、丁寧に対応できるようになりました。宿題をしたり、ドリルをしたり、後半は工作や本読みなど、楽しく過ごしています。時には高学年の子や中高生も一緒に勉強しています。



土曜日午前中の英会話クラスはLawrence夫妻のおかげで、歌あり、ダンスありの楽しい時間になっています。彼の仕事の都合で月一回の開催になってしまいました。子どもたちは心待ちにしてくれているようです。

この施設でのボランティアを始めて、12年が過ぎました。これからも細く長く続けていきたいと思っています。



はぐCafeレポート 2024冬

(金沢市委託事業)

ママたちはどうしているのかしらとスタッフはいつも心を寄せています。



毎月第一水曜日に、コティまたはいしかわ子ども交流センターにて「はぐカフェ」を開催しています。美味しい飲み物やお菓子を頂きながらの、子育ての情報交換や子育て相談。

毎回の絵本の読み聞かせや手遊びに、お子さんだけでなく大人も一緒に心が安らぐひとときを過ごさせています。

参加者のお母さんが「子どもと離れて温かいお茶を飲むだけで、こんなに気持ちが悪くなるんですね。不思議です」と話していたのが印象的でした。

お子さんの笑顔が、ずっとずっと続きますように…と、願うばかりです。

「はぐカフェ」はお母さんたちの、エネルギーチャージの場、羽休めの場、なにより心地よい場でありたいなと思っています!



【第65回】はぐはぐ子育て塾 《金沢市委託事業》

令和6年10月19日(土) 10:30~12:00

- テーマ「自己存在感を育むために親ができること」
～子どもが生きて自分の道を歩んでいくための親のかかわり方～
- 講師 原田 克巳さん(金沢大学人間社会学域学校教育系准教授)

今年1月の震災以降、先生ご自身が、被災地の教職員からのオンライン相談を受けていること、現在も世界情勢が危うい状況にあることなど、大人の精神健康がどれだけ保たれているかというお話から始まりました。

コロナ後、子どもたちの不登校は、小学校低学年が特に増えており、子どもたちの自殺数も増えている。そうせざるを得ない状況って何だろう?と考えた時、子どもに良かれと思ってすることがそうではなかった、自分の当たり前が子どもの当たり前ではないことを知っておく。声かけ一つで状況が変わります。

子どもにとっての安心基地・安全基地になる(逃げ場を提供してあげる)ことを大切にしつつ、冒険に送り出してほしい。「いつてらっしゃい」「おかえりなさい」と明日の元気を与えられる家庭であってほしい。そして憧れ・尊敬できる人に出会えるといいなあ、とお話いただきました。

◆参加人数 親子7組(両親での参加3組)23名



働くパパ・ママの支援事業

育休からの職場復帰支援セミナー

《石川县委託事業》



このセミナーは、仕事と育児の両立のコツと家庭や職場でのコミュニケーションの取り方を学び不安を解消し、スムーズな職場復帰・再就職につなげることを目的として開催しています。

夫婦で受講できるようになって2年目を迎えました。託児付きなので、パパもママもお子さんを預けてゆつくりセミナーを受講することができます。男性の育児取得率も急速に上がってきており、昨年度の石川県の男性の育児取得率はついに40%を超えました。本セミナーでは育休を取得されたパパから実際の話をお聞きすることができ、参加者にとってなかなか有益な情報のようです。

しかし男性も育児や家事を積極的にするようになることで、新たな夫婦間の課題も出てきます。育休取得の究極の目的は家族の幸せのためです。家族にとって有益な育児休暇にするために、ご家族にとって一番良い取り方を考えていただきたいと考えています。今年8月に2回、12月に2回セミナーを開催し、多くの皆様に受講していただきました。



パパちからアップセミナー「これからパパになる、パパをたのしむために」

《石川县委託事業》

プレパパやパパたちに父親の心構えや育休制度、また産前産後の女性の心や身体の変化、育児、ママとのコミュニケーションなどを学んでもらい、夫婦で子育てを楽しむための「パパちからアップセミナー」を開催しています。はぐはぐスタッフの助産師、社会保険労務士、子育て支援の3名の専門家がプレパパ、パパを対象にお話しています。

今年度のパパセミナーは、第1回を8/25(日)県立図書館で開催しました。(第2回は令和7年1/26)

講師陣からのレクチャー後、グループに分かれての質疑応答を行います。パパたちの話を聞いていると、ママのサポートをしっかりやっていきたいとの意気込みが感じられます。毎回パパがママを思う気持ちにほのぼのし、また時代の変化を感じるセミナーです。



オーダー・メイド・ペアレンティング(Made-to-order parenting: MOP)は、子どもの困った行動を減らし、適応的な行動を増やすかかわりを親御さんに提供するアプローチです。目の前の子どもにピッタリと合ったかかわりを生活の中に取り入れることで、子どもの困った行動が減り、本来の子どもの個性や力を親御さんが感じられるようになっていきます。

今年度の支援者向け研修会も無事に全コース終了しました。毎回県内外から多くの方に参加いただいています。来年度もまた同講座を開催予定です。また、支援者向け出前講座や、親向け

講座は県内で行政や支援センターなど6箇所計15回実施しました。

2024年 実績

オーダーメイド・ペアレンティング(MOP) 研修会

- MOP初級トレーナー養成研修 9/7(土)、9/8(日)両日とも10:30-17:00
- MOP中級トレーナー養成研修 10/26(土)、10/27(日)両日とも10:30-17:00
- MOPスキルアップ研修会 11/23(土)、11/24(日)両日とも10:30-17:00
- MOP継続研修会 令和5年7月より月一回開催

*初級トレーナーおよび中級トレーナー、あるいは以前にオーダーメイド・ペアレンティングの研修会の参加者対象
場所:いずれもランプアコティ及び Zoom

講演会・研修会

- 7/25 金沢百万石ロータリークラブ
- 9/18 家庭教育出前セミナー「米沢電気」
- 10/22 新野町更正保護女性会
- 10/29 石川県民生委員・児童委員研修会 加賀地区
- 10/30 石川県民生委員・児童委員研修会 能登地区
- 11/14 キワニスクラブ
- 12/12 加賀市子育て応援ステーション

高校生と親子の交流授業

いしかわ結婚・子育て支援財団が実施する「高校生と親子の交流授業」は、次世代の親を育むことを目的に開催されています。はぐはぐも見守りスタッフとして協力しています。

10月 石川県立看護大学、遊学館高校、錦丘高校

はぐはぐ活動日誌

Vol.24
R6.7月~12月



能登地震被災児のその後

能登半島地震から一年が経ちました。その後も豪雨被害と続き、まだまだ復興への道は厳しく、被災地では2度目の寒い冬を迎えています。そんな中、昨年ははぐはぐが開催していた金沢の避難所での学習支援に来てくれていた輪島の高校生から志望大学に合格したとの嬉しい知らせが先日届きました。弾む声に、被災地に小さな春の兆しが見えました。

金沢市こども応援ネットワーク (主催 金沢市)

このネットワークではこども食堂を運営する会員の情報交換や研修会を実施しています。また支援が必要と思われる子どもや子育て家庭を発見した時は、行政などに適切につなぐ役割を担っており、地域からつながる支援体制の構築に努めています。昨今の物価高の影響で、どの団体も運営が厳しく、継続していくために、寄付や物品などの支援をして下さる企業サポーターを募っています。はぐはぐは今年度からこのネットワークの代表を務めており、困窮している子どもたちが健やかに過ごせるために広く支援をお願いしています。

はぐはぐ活動スケジュール (令和7年1月~令和7年3月まで)

●はぐはぐ子育てサロン(はぐカフェ・子育て塾) 毎月第1水曜日 *月によっては変更

日程	活動内容	場所
1/8(水) 3/5(水) 10:30~12:00	ママの居場所 はぐカフェ ◇参加費200円(お菓子飲物付) 対象:未就園児をお持ちの保護者 *金沢市委託事業	いしかわ子ども交流センター
2/1(土) 10:30~12:00	第66回子育て塾 ◇参加無料 *金沢市委託事業 シリーズテーマIII 「今、なぜ子どもに自己存在感が必要なのか?」 講師:金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授 原田克巳氏(臨床心理士、公認心理師)	いしかわ子ども交流センター
毎週木曜日	木曜日のコティ ママのカフェ・子育て相談 *要予約 070-6559-9557	ランプアコティ(はぐはぐの家)
毎月 第2、第4 金曜日	困窮家庭(子育て世帯)への見守り支援(訪問、宅食) そのままこども食堂・学習支援 (要予約 はぐはぐ支援家庭優先) *金沢市助成事業	ランプアコティ(はぐはぐの家)
1/26(日) 9:30~11:30	「パパちからアップセミナー」 オンライン開催 講師:塚脇京子(助産師) 服部英明(社労士) 水島栄美子 *石川県委託事業	オンライン

*いずれも詳しくは事務局(070-6559-9557)までお問い合わせください。

令和7年(2025年)度 寄付及びサポーター会員募集のお知らせ

はぐはぐは、ボランティアで成り立っている団体です。主な活動は皆様の寄付及び会費でまかなっております。

近年では、はぐはぐの家(ランプアコティ)の運営や困窮家庭への食料支援などがありますので、皆様のご支援がありますと本当に助かります。

はぐはぐの活動の趣旨にご賛同いただけるサポーター会員を募集しています。また随時ご寄付やお米、お菓子など食料の支援も受け承っております。温かいご支援を何卒よろしくお願いいたします。

【会員の特典】●会報の発行 ●はぐはぐ各種事業の参画

【年会費】●サポーター会員(個人).....1口 3,000円

●サポーター会員(法人、団体).....1口10,000円

【サポーター会員会費・寄付振込先】

郵便局 口座番号 00790-9-76858

NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

*恐れ入りますが、お手数料は本人のご負担をお願い致します。支援金は、親支援・子どもたちへの直接的な支援費用や会の運営費用等に充当させていただきます。

■お問い合わせ TEL 070-6559-9557 (はぐはぐ事務局)

Email:info@hagu-hagu.com

